

令和4年度

第2回

三鷹市健康福祉審議会 会議録（要旨）

1 日 時	令和4年8月16日（火）PM7:00～7:50
2 会 場	オンライン審議
3 出席委員 (20人)	宇井義典（会長）、和田敏明（副会長） 内原正勝、香川卓見、神崎恒一、小玉充、小林義明、嶋田正和、杉山一延、平呉夫、竹内美佐子、竹川健太郎、田原なるみ、中澤敏、中柴和子、新津健朗、増井智明、三上京子、山本真実、吉野勇
4 市側出席者 (13人)	小嶋義晃（健康福祉部長）、馬男木由枝（健康福祉部調整担当部長）、近藤さやか（保健医療担当部長）、嶋末和代（地域福祉課長）、立仙由紀子（障がい者支援課長）、荻野るみ（障がい者相談支援担当課長）、大高俊彦（高齢者支援課長）、竹内康真（介護保険課長）、川口真生（生活福祉課長）、小島美保（保健サービス担当課長）、山口和昭（新型コロナウイルスワクチン接種担当課長）、鈴木清一（住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業推進室長）、秋山慎一（子ども政策部長）
5 会議の公開 ・非公開	公開
6 傍聴人数	1人
7 会議次第	1 会長あいさつ 2 報告事項 （1）三鷹市災害時避難行動要支援者避難支援プラン（仮称）について （2）調布基地跡地福祉施設（仮称）整備に係る基本プラン（改定版）について （3）三鷹市自殺対策計画の改定について （4）新型コロナウイルスワクチン接種事業について 3 その他
8 資料	[事前送付資料] （1）令和4年度第2回三鷹市健康福祉審議会次第 （2）三鷹市災害時避難行動要支援者避難支援プラン（仮称）の策定 【資料1】 （3）調布基地跡地福祉施設（仮称）整備について 【資料2】 （4）三鷹市自殺対策計画の改定について 【資料3】 （5）新型コロナウイルスワクチン接種事業について 【資料4】 （6）令和4年度第1回三鷹市健康福祉審議会会議録（要旨）（案）

[ 開 会 (午後7時00分)]

1 会長あいさつ

省略

2 報告事項

(1) 三鷹市災害時避難行動要支援者避難支援プラン（仮称）について

【地域福祉課長】

(事前送付資料 (2) に沿って報告)

(質疑応答)

【委員】 大事な計画だと思います。かなり進め始めていると思いますが、支援が必要な方の状態というのは、刻々変化すると思います。計画が作られ、日常的なつながりを協定団体が作っていくと思いますが、この変化するということについて、市ではどのように考えていますか。

【地域福祉課長】 支援が必要な方たちの状態が変化することは市でも想定しております。この個別避難計画は、ケアマネジャーなどの福祉の専門職と一緒に作っていくことにしておりますので、そういった福祉関係者の皆様を通して、要支援者の変化について情報がありましたら、個別避難計画も修正していきたいと考えております。

【会長】 支援が必要な方の変化について、定期的にある時期を決めてそれをチェックしていくというような想定はありませんか。

【地域福祉課長】 時期を決めて定期的に行うということは想定しておりませんが、情報が入り次第、その都度、修正していきます。

(2) 調布基地跡地福祉施設（仮称）整備に係る基本プラン（改定版）について

【障がい者支援課長】

（事前送付資料（3）に沿って報告）

（質疑応答なし）

(3) 三鷹市自殺対策計画の改定について

【保健医療担当部長】

（事前送付資料（4）に沿って報告）

（質疑応答）

【委員】 年齢分布のデータがあると思いますが、例えば、独居老人の方が自殺しやすいというような年齢分布のデータはありますか。

【保健サービス担当課長】 年齢分布のデータはあります。年齢別ですと、40代から50代ぐらいまでの年齢の方が多く状況であると分析されています。

また、同居の有無について、同居人がいる方の割合のほうが多い傾向にあります。無職者かどうかということについては、勤務者が9人、無職者が19人程いらっしゃるという状況になっています。

【委員】 自殺を予防するための心理学者のカウンセリングなどは実施されていますか。

【保健サービス担当課長】 自殺をされる方たちが、直接相談に来られるということは、非常に少ないのが現状です。しかし、杏林大学病院で実施されている、AIを活用したチャット形式の認知行動療法や、専門家によるオンラインの心理相談などについて研究協力しており、そうした窓口の案内はしています。

【委員】 資料のデータをみると、全国・東京都と比較して、三鷹市は急速に増

えていますが、要因や分析していることはありますか。

また、相談に来られる方は少ないかもしれませんが、色々な場面で気づき、その情報が誰かのところにしっかりつながっていく、ゲートキーパーのような人が存在している自治体は効果を上げていると思います。その点について、この計画の数値目標である自殺死亡率11.1まで下げること、何かポイントになる計画はありますか。

**【保健サービス担当課長】** 分析について、原因として挙がっているものとして一番多いのは健康問題となっています。続いて、家庭問題、経済問題となっています。

また、ゲートキーパーを養成していくことについては、引き続き次期の計画でも進めていこうと考えていますが、さらに、相談窓口に従事する職員を対象に中級者研修という形で充実を図っていこうと思っています。具体的には、死にたいというようなサインを出されたときに、どのように窓口の職員が対応し、連携して支援していくかという内容の研修にしたいと考えています。

**【会長】** 市役所のトイレに入ると、相談はここにどうぞというようなカードが置いてあるのを見ました。窓口を知らせることがポイントであれば一つの方法として良いかなと思います。一つの案として、お手洗いなど一人でぼつんとなるときにふっと見られるようなものをご検討いただければと思います。

**【委員】** 女性の自殺で産後うつが高いということは今までもありましたが、現在、40代、50代という話の中で、産後うつの方の自殺がどの程度か教えてください。三鷹市でも産後うつの取組みはしっかり行っていると思うので、その辺りからお願いします。

**【保健サービス担当課長】** 現状、市において具体的に病名のようなことを調べることはできないため、産後うつで亡くなった方の件数は把握できていません。しかし、助産師会の皆様にもご協力いただいて実施している、産後うつのスケールを新生児訪問のときに行うなど、早期発見・早期支援につながる支援を進めています。

(4) 新型コロナウイルスワクチン接種事業について

**【新型コロナウイルスワクチン接種担当課長】**

(事前送付資料 (5) に沿って報告)

(質疑応答)

**【委員】** 小児の接種が努力義務になりました。現在、小児の接種率が非常に低いですが、努力義務になることで市としてはどれぐらい接種率が上がることを想定していますか。少し難しい質問だと思いますが。

**【新型コロナウイルスワクチン接種担当課長】** 接種率の想定の数値はこれから検討していきます。一応、9月の上旬から国が考えているということで、医師会の小児科医会、また理事の皆様と協議させていただきながら、例えば、今は集団接種を行っていませんが、必要に応じて集団接種も考えることや、接種が努力義務とはいえ最終的に強制ではなく、本人と保護者の皆様の理解・納得があった上での接種となるため、接種したい方が確実に受けられるような体制をつくることに尽力したいと思っています。

**【委員】** 高齢者の4回目接種が進んだということで、当院でも高齢者のコロナに感染した患者さんをたくさん診ていますが、重症化する方がかなり少なくなっています。ワクチンはオミクロンに対応していないということですが、重症化の予防という点ではワクチンの効果を実感しています。

**【会長】** クリニックでの個別接種がなかなか進まない・十分に満たされないのは、クリニックそれぞれが発熱外来を行い、感染者を診ながら注射をしていくという困難さをご理解いただきたいと思います。

### 3 その他

#### (1) 次回の予定

令和4年度第3回健康福祉審議会は、令和4年11月中旬に開催予定。

[ 閉 会 (午後7時50分) ]